

奥の細道むすびの地「大垣」 十六万市民投句

一般の部

令和六年十二月度 入賞句一覧 投句数 六百二十九句



持選

大西 誠一 選

庭木切る痛み分け合う秋の暮れ

愛知県豊明市 希凜咲女

選者である私には大変共感できる御句でした。昨日妻と庭のカイズカイブキの剪定をしました。毎年恒例行事ですが、齢を重ねるにつれ、手や腰が痛くなります。そろそろ引き時ですが、木の匂い、枝振の観賞等が俳句の題材になり、活力が湧き上がる一句となりました。

柗の花楚々と咲く裏鬼門

大垣市 中村 昌子

「柗の花」は冬の季語です。その特徴は葉に鋭いとげがあり、顕著な切れ込みがあることです。小花が密生し、佳い香りがします。節分の夜、この枝と綱の頭を門戸に挿すと、悪鬼を払うと言われています。家の裏鬼門にはびつたりです。

式部の実十二単の気品あり

京都府京都市 原 強

今年の大河ドラマの主人公は紫式部でした。作者もこれを見て一年間楽しまれたことと思います。ただ、実際には藤原道長との接点は、顔を合わせたか合わさなかつたか程度の関係だったようです。式部の実を「十二単の気品あり」と表現したところが見事です。

秀逸

翁曾良再会の地や冬日和

千葉県八千代市 大久保 文夫

こぼれ萩石仏に置く五円玉

福井県敦賀市 山田 美千代

稽田に建設予定ケアハウス

大垣市 高津 喜久子

月遅れ曲がり角から金木犀

京都府宇治市 椎原 園美

子に従ひ時に自由に秋の山

大垣市 町野 眞佐子

逝きし友侘助見ればなおさらに

三重県四日市市 井立 美智乃

髪を染め十一月の旅心

大垣市 岡田 博志

暮れ時を忘れ呆ける返り花

大垣市 吉田 てるみ

隙間風茶碗と皿と一つづつ

神奈川県川崎市 立野 音思

妻の寢息聞こえて安堵虎落笛

大阪府東大阪市 森 佳月

入選

初物のぶどう十粒まず供え

大垣市

林 風泉

一切を天に捧ぐや枯蓮

養老郡養老町

佐藤 咲楽

道長と同じ望月令和の夜

大垣市

永江 美佳

校庭の園児の演技小鳥来る

大垣市

傍島 隆

公園に座して無心の小春かな

大垣市

後藤 喜美男

営みの人影消へて崩れ築

岐阜市

花川 和久

歳時記を繰る短日の眼鏡拭く

静岡県浜松市

松浦 ゆり

上品な有田の鉢の煮大根

京都府宇治市

中村 広美

花ミズキ枯葉美しきを葉にす

愛知県額田郡

平松 京師

里言葉添へて届くや今年米

大垣市

岡田 幸子

色変えぬ御油の松並風抜ける

三重県四日市市

後藤 允孝

リハビリを前へ前へと冬ぬくし

大垣市

小林 保葉

奥琵琶の湖波の揺れて秋の声

三重県三重郡

水野 悦子

小諸なる虚子の寓居や初しぐれ

岐阜市

辻 雅宏

木枯を払ふ軍配氏鉄像

岐阜市

堀江 美州

選者吟

小六月地藏の赤き涎掛け

誠 一

一般の部

